

令和7年度職員採用試験
林業 専門記述試験

問1 次の文章は、森林の種類に関する記述である。文章中のA～Eに当てはまる語句を、後の①～⑩から選びなさい。

森林は、類別するときの基準によってさまざまなものがある。

構成する樹種によって類別するときは、主としてスギ、ヒノキ、アカマツ、モミ、カラマツなどからなる で構成された森林、主としてコナラ、クヌギ、ブナ、ケヤキ、アカガシなどからなる で構成された森林、 と が混ざった混交林がある。

人の手が加わった程度によって類別するときは、大きく分けて、過去に人手が加わっていないか、長い間加わっていなかった と、植栽、下刈り、間伐などを行って成立させる があり、所有形態で類別するときは、林野庁が所管している国有林、都道府県市町村などが所管する公有林、個人や会社が所有する がある。

- ①人工林 ②常緑樹 ③民有林 ④広葉樹 ⑤私有林
⑥原生林 ⑦針葉樹 ⑧二次林 ⑨天然林 ⑩落葉樹

問2 次の(1)～(8)の林業・木材に関する用語の中から5つを選び、その用語の説明を解答用紙に簡潔に記述しなさい。

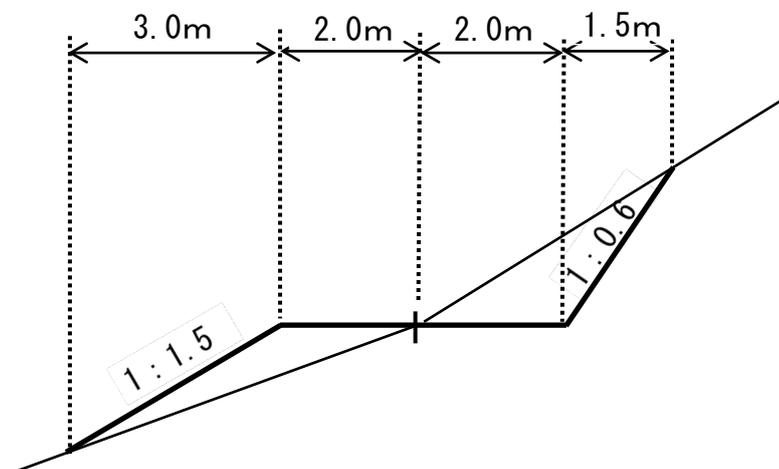
- (1) 一貫作業
(2) 保安林
(3) GIS
(4) フォレストリーダー
(5) カーボンニュートラル
(6) フィンガージョイント
(7) コンテナ苗
(8) 平板測量

問3 次の(1)～(8)の記述には、それぞれ不適当な語句が1つ含まれている。
 (1)～(8)から5つを選び、不適当な語句と、それに代わる正しい語句をそれぞれ解答用紙に記入しなさい。

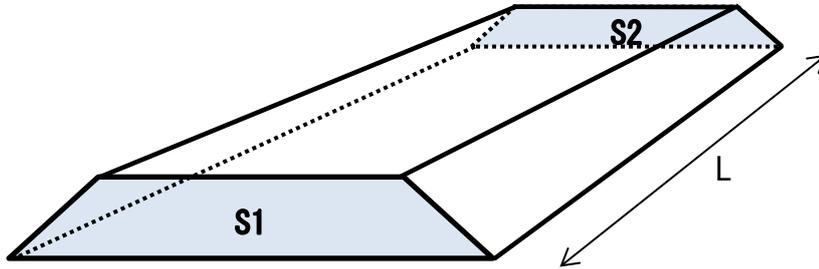
- (1) 森林の多面的機能のうち、森林土壌の働きによる洪水の緩和、河川流量の維持、水質の浄化等の機能のことを水土保持機能という。
- (2) 樹木が陽光の不足にどこまで耐えて生育できるかを耐陰性といい、耐陰性の低い陽樹の林では、耐陰性の高い樹種の林と比較して一般的に林内の相対照度の値が小さい。
- (3) 森林・林業基本計画は、政府が森林法に基づき、今後20年程度を見通して森林及び林業に関する基本的な方針や施策について定めたものである。
- (4) 山崩れを崩壊層の厚さによって分類すると、地表面からの深さが浅い部分の土砂が一気に滑り落ちる地すべり崩壊と、更に深い岩盤から斜面が崩れる深層崩壊がある。
- (5) マツ枯れは、マツノマダラカミキリがマツの枝をかじり、その傷口から体内に付けていた菌が侵入して大量に増殖することで通水機能が破壊され、根から水を吸い上げられなくなり枯れる現象である。
- (6) 木材の主要成分は、セルロース、ペクチン、ヘミセルロースである。
- (7) ひき板や小角材等をその繊維方向を互いに平行に並べて、厚さ、幅及び長さの方向に接着した木材を合板という。
- (8) 森林認証制度について、日本では主にFSCと、日本独自の認証制度であるPEFCによる取組が進められている。

問4 次の(1)～(4)について、計算過程と解答を解答用紙に記入しなさい。
 なお、図の縮尺は関係ない。

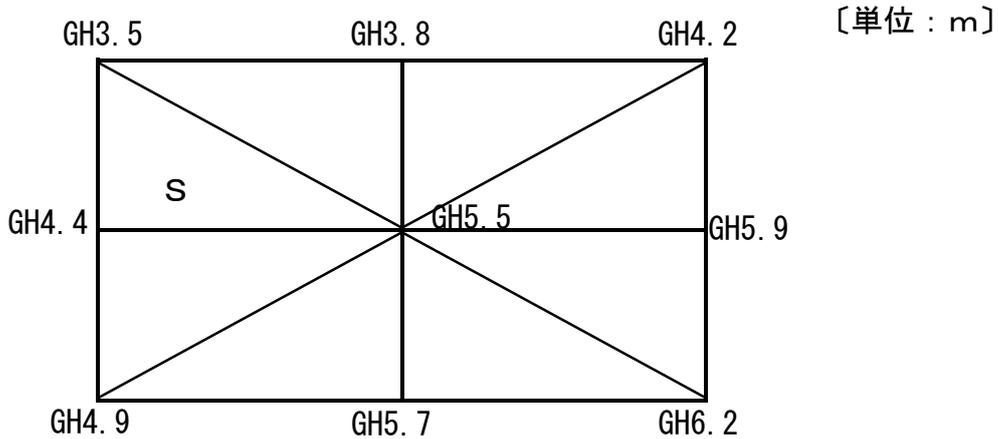
- (1) 樹高24m、胸高直径30cmのスギの形状比はいくらになるか。
- (2) 次の横断図の作業道を10m開設する場合、切土量から盛土量を差し引いた残土量は何 m^3 になるか。なお、土量の変化率はないものとする。



- (3) 次の図のような盛土をした場合、土量は何 m^3 になるか。
 なお、両端の断面積はS1が 20m^2 、S2が 10m^2 とし、延長(L)は 20m とする。



- (4) 次の図のような長方形の造成予定地を、平坦な土地にする場合、地盤高(GH)は何 m になるか。ただし、土量は、この土地を図のような面積Sの等しい8個の三角形に区分して、点高法により求めるものとする。



問5 本県の県土面積の約7割を占める森林には、林業経営を通じて木材を生産する森林や、かつて薪炭への利用など人との関わりにより成立していた里山の森林などがある。

しかしながら、近年の産業構造の変化に伴う木材価格の下落や林業従事者の減少、また、生活様式の近代化等により、手入れ不足や放置された森林が多く存在しており、そのような場所では公益的機能の低下が懸念される。

このことを踏まえて、森林資源を持続的に利活用しながら適切に整備・保全し、森林の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、どのように取り組むべきか、あなたが広島県の林業職職員であると仮定して、あなたの考えを200字程度で述べなさい。